PSZ-1281(19102)

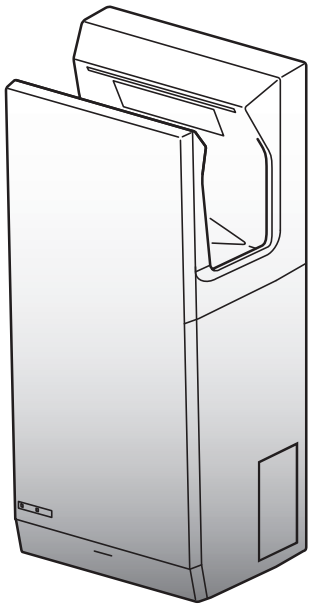
施工説明書

ハンドドライヤー スピードジェット

KS-570A　（100V　ヒーターなし）
KS-570AH（100V　ヒーターあり）
KS-570BH（100V　ヒーターあり）
KS-571B　（200V　ヒーターなし）
KS-571BH（200V　ヒーターあり）

もくじ

安全に関するご注意　2
各部の名称　5
施工前の確認事項・準備　6
施工方法　10
試運転　16
引渡前の確認　16



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
●施工後は必ず正常に作動することをご確認ください。
●お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。

●施工手順

コンセントを使う場合

1. ドレンタンクの取外し …… 10
2. 取付板の固定 …… 10
3. 本体の固定 …… 11
4. ドレンタンクの取付け …… 11

専用配線工事の場合

1. ドレンタンクの取外し …… 12
2. 配線工事 …… 12
3. 取付板の固定 …… 13
4. 前パネルの取外し …… 13
5. 電源プラグコードの取外し …… 14
6. 本体の固定 …… 14
7. 速結端子への結線 …… 14
8. 速結端子カバーの取付け …… 15
9. 前パネル、ドレンタンクの取付け …… 15

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間　平日　「9:00～18:00」
土日・祝日「9:00～17:00」対応
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

安全に関するご注意

安全のために守ってください！

ハンドドライヤーを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

（用語および記号の説明）

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ・・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ・・・・・「この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。」

指示実行 ・・・・・「この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。」

水場禁止 ・・・・・「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

分解禁止 ・・・・・「分解してはいけません！」

⚠ 警告	
配線工事、電源接続工事は関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。 **※接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。**	指示実行
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 **※発火や感電をしたり、異常作動してケガをする恐れがあります。**	分解禁止
バスルーム等の水のかかる場所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所、結露する場所には設置しないでください。 **※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。**	水場禁止

安全に関するご注意

⚠警告

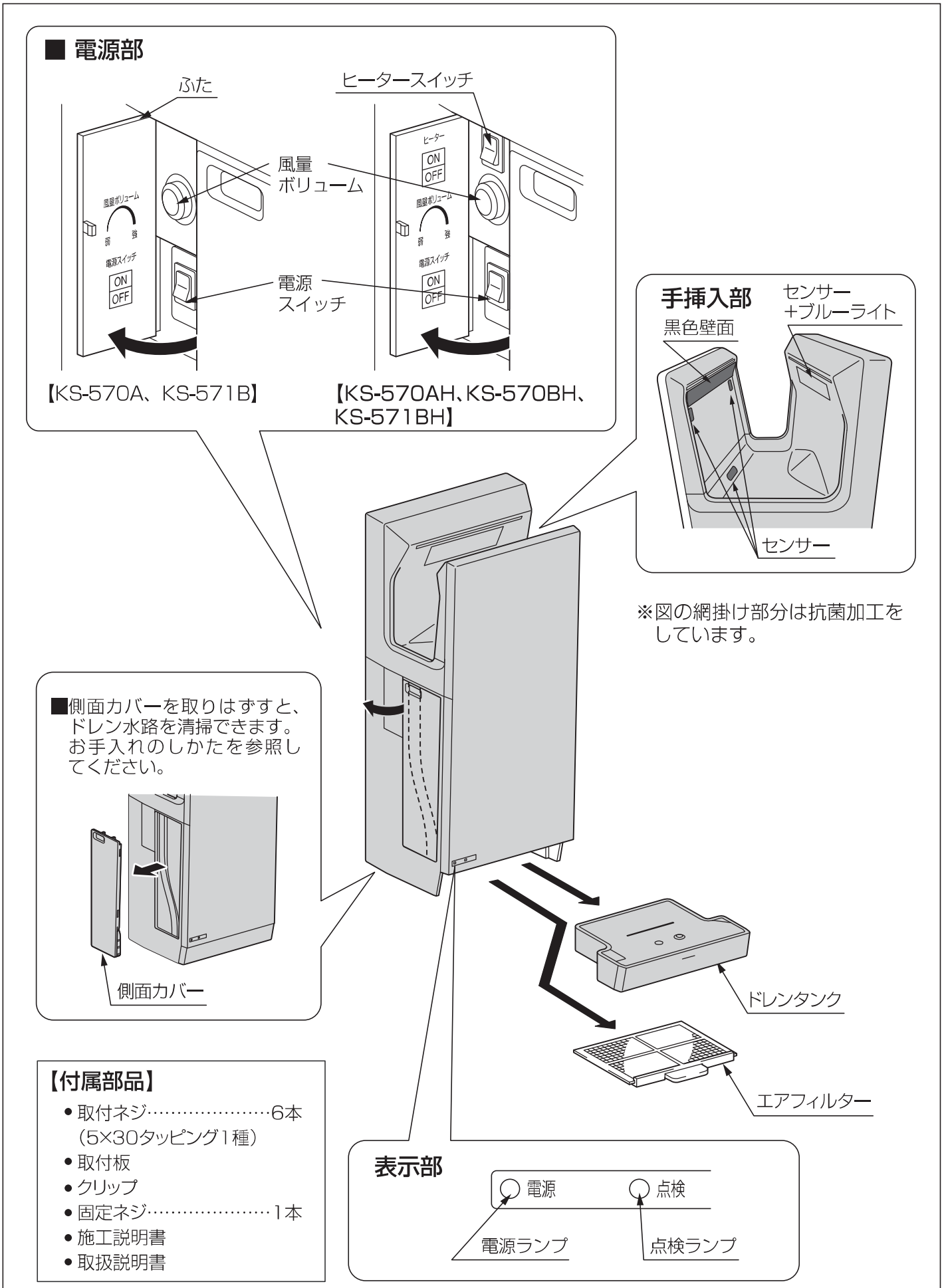
【KS-570A、KS-570AH、KS-570BHの場合】 交流100V 以外では使用しないでください。 **※火災・感電の原因となります。** **【KS-571B、KS-571BHの場合】** 交流200V 以外では使用しないでください。 **※火災・感電の原因となります。**	禁止
定格15A以上・交流100Vの専用コンセントを単独で使用してください。 **※火災、感電の原因となります。　(コンセント接続の場合)**	指示実行
電源には漏電遮断器を取付けてください。 **※感電の恐れがあります。**	指示実行
故障が発生した場合、電源プラグを抜き(専用配線直結の場合は、ブレーカーなど元電源を切って)、修理を依頼してください。 **※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因となります。**	指示実行
電源コード、電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 **※電源コード・電源ケーブルが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。**	禁止
電源コード、電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 **※発火、ショート、感電の原因となります。**	禁止
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。濡れた手で持たないでください。 **※発火、ショート、感電の原因となります。（コンセント接続の場合）**	指示実行
屋外へは取り付けないでください。 **※火災・感電の原因となります。**	禁止
塩害地域および腐食性・中性・還元性ガスのあるところには設置しないでください。 **※発火、ショート、故障の恐れがあります。また、機器の寿命が短くなります。**	禁止

次ページに続く

安全に関するご注意

⚠注意	
製品(電源ケーブル) に通電した状態で取付工事をしないでください。 **※感電の恐れがあります。**	禁止
本体の取付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 **※落下によりけがをする恐れがあります。**	指示実行
取り付けの際は手袋を着用してください。 **※着用しないとけがをする恐れがあります。**	指示実行
直射日光が当たる場所には設置しないでください。 **※誤動作したり、プラスチック部品が劣化し破損する恐れがあります。**	禁止
使用時に吹き飛んだ水滴が、壁面や床面に付着しても悪影響を受けないところに取り付けてください。 **※水の付着により壁面や床の汚れ、はがれの原因となります。**	指示実行

各部の名称


■ 電源部
ふた
ヒータースイッチ
風量
ボリューム
電源
スイッチ
ON
OFF
【KS-570A、KS-571B】
【KS-570AH、KS-570BH、
KS-571BH】
手挿入部
センサー
+ブルーライト
黒色壁面
センサー
※図の網掛け部分は抗菌加工を
していています。
■側面カバーを取りはずすと、
ドレン水路を清掃できます。
お手入れのしかたを参照し
てください。
側面カバー
ドレンタンク
エアフィルター
【付属部品】
● 取付ネジ……6本
（5×30タッピング1種）
● 取付板
● クリップ
● 固定ネジ……1本
● 施工説明書
● 取扱説明書
表示部
電源
点検
電源ランプ
点検ランプ

施工前の確認事項・準備

■つぎのような場所には取り付けないでください。

※故障の原因になります

●0℃未満になる場所　●40℃以上になる場所　●塩害地域　●温泉地域
●ほこりの多い場所　●結露する場所　●乗り物
●直接水がかかる場所　●腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所
●日光・強い光があたる場所（センサーが誤作動する恐れがあります）
●屋外　●食材・食器等の近く（水滴がかかる恐れがあります）　●厨房
●消毒槽のある部屋・プール・浴室

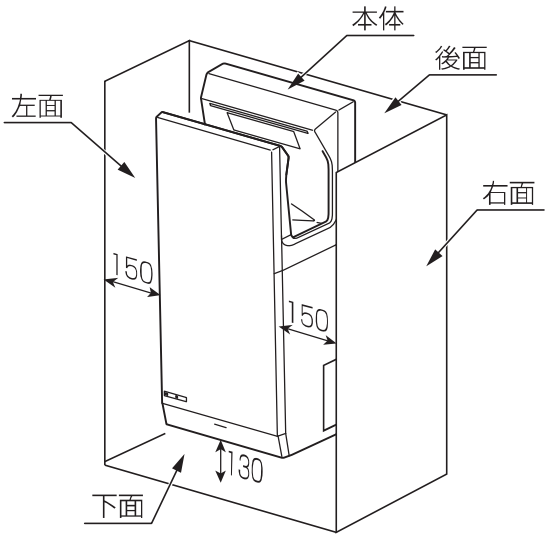
■取付位置について

●使用しやすいようにP.8「施工完了図」の位置に取り付けてください。取付高さが低いと床面掃除の際、水がかかりやすくなります。本体内部に水を吸い込んだ場合には、故障の原因や吸音材が吸湿して菌が繁殖する場合があります。
●本体下部に床および障害物がある場合は、最低130mm以上あけてください。
●本体左側面には電源操作部・ドレン水路があるので、左側面と壁との間は必ず150mm以上あけてください。
●本体右側面の近くに鏡および壁等のないようにしてください。手乾燥時、水滴が飛ぶことがあります。右側面と壁との間は必ず150mm以上あけてください。
●人がぶつかりやすい場所やドア等があたる場所は避けてください。
●製品を取り付ける壁は、段差のない平らな場所を選び取り付けてください。コンクリート壁以外の壁は補強を行ったうえで取り付けてください。
●スタンド（別売品）を用いて取り付ける場合も、壁に沿って設置してください。
※ハンドドライヤーの床置きスタンドを使用する場合、スタンドはできるだけ壁面へ固定してください。床面へ固定する場合は、必ず床の仕様を確認し、防水性を損なわない場合にだけ床固定を行ってください。また、床面への固定金具は取付壁条件の壁面仕様を参考に床の仕様に応じて選択してください。
●水滴が飛ぶ恐れがありますので、食材、食器等の近くには取り付けないでください。
●本体を埋め込んで取り付けないでください。

施工前の確認事項・準備

■建物の壁面等からの離隔距離は下表に掲げる数値以上の距離を保ってください。

イメージ図



場所	隔離距離
上方	開放
左方	150
右方	150
前方	開放
後方	ー
下方	130

単位（mm）

■取付壁条件

[乾式壁の場合]

①壁面への取付は付属の木ねじ（φ5×30）をご使用ください。
②ねじ込み深さが15mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
③石こうボード等のボード張りには木ねじはききません。必ずあらかじめ壁面に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
④ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを超える場合は、超えた分だけ長い木ねじを別途用意ください。

[湿式壁の場合]

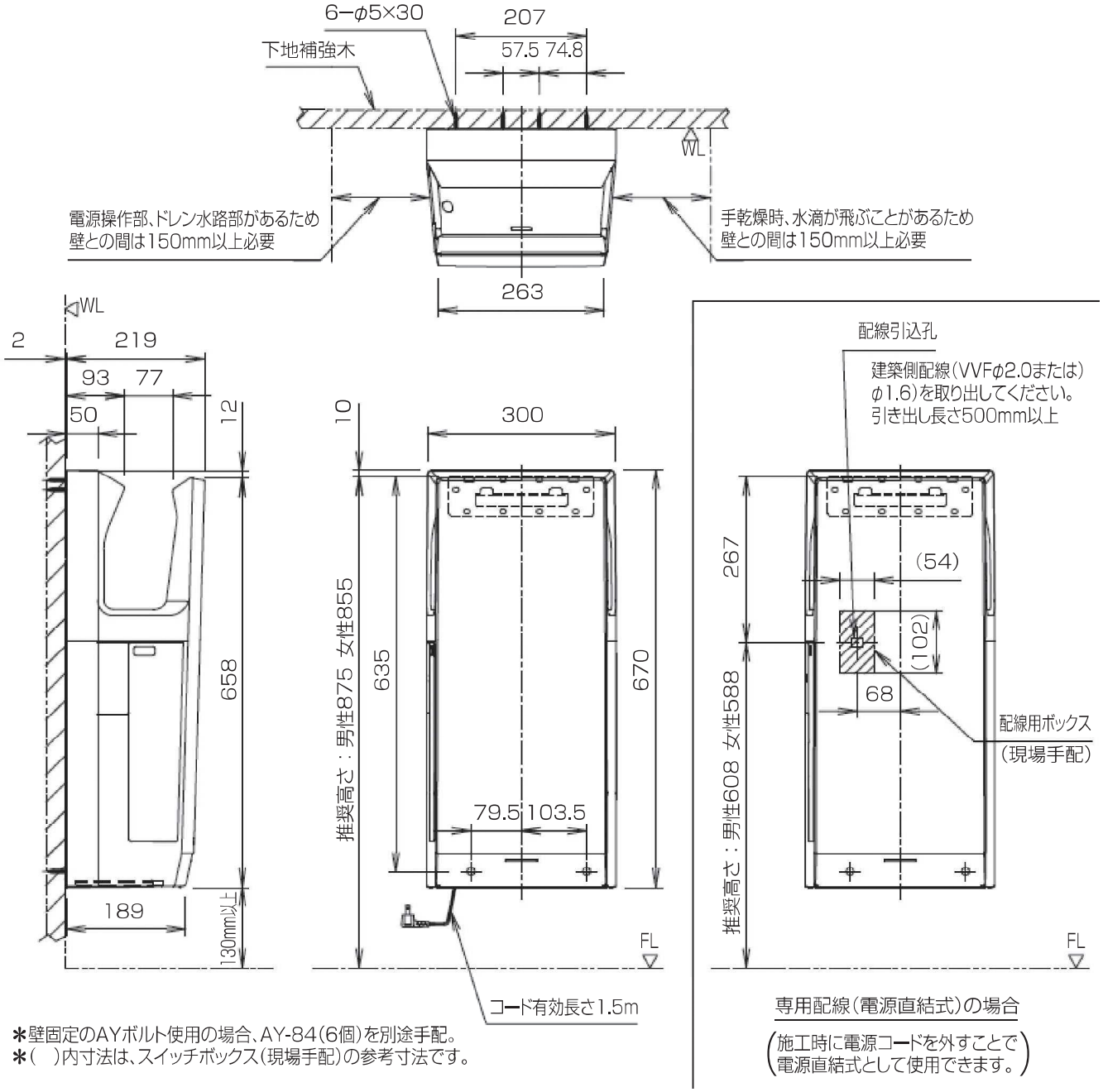
①壁面への取付はAYボルト（別売AY-84）を使用してください。
②下地はコンクリートとし、取付部の奥行は70mm以上（コンクリートの厚さは40mm以下）を確保してください。
③壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは20mm以下としてください。
④木ずり下地、石こうボード下地への取り付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

[パーテーション壁の場合]

①壁面への取付は付属の木ねじ（φ5×30）をご使用ください。
②木ねじの固定位置に30mm以上の取付木（補強材）を入れておいてください。
③既設の壁に取り付ける場合、壁を貫通できる長さのM5のボルト、ナットとステンレスの平板等（現場手配）で壁を挟み込んで固定してください。

次ページに続く

■施工完了図



＊壁固定のAYボルト使用の場合、AY-84（6個）を別途手配。
＊（　）内寸法は、スイッチボックス（現場手配）の参考寸法です。

施工前の確認事項・準備

■仕様

【KS-570A、KS-570AH、KS-570BH】

品番	KS-570A	KS-570AH	KS-570BH
仕様	100Vヒーターなし	100Vヒーターあり	100Vヒーターあり
風速	強98m/s、弱62m/s		
吹き出し	両面吹き出し		
乾燥時間	強：4～6秒 弱：15～20秒	強：ヒーター入り3～5秒 ヒーター切り4～6秒 弱：ヒーター入り10～15秒 ヒーター切り15～20秒	強：ヒーター入り3～5秒 ヒーター切り4～6秒 弱：ヒーター入り10～15秒 ヒーター切り15～20秒
運転音	強：56dB、弱：49dB		
電源	AC100V		
定格消費電力	強：650W 弱：220W	強：ヒーター入り　1150W ヒーター切り　650W 弱：ヒーター入り　720W ヒーター切り　220W	強：ヒーター入り　1080W ヒーター切り　590W 弱：ヒーター入り　630W ヒーター切り　140W
待機電力	1W		
電源コード有効長さ	1.5m（連結端子も接続可）		
モーター	整流子モーター	整流子モーター	ブラシレスモーター
ファン形式	ターボファン形式		
ヒーター	－	PTCヒーター	PTCヒーター
安全装置	モーターロック検知機能 モーター過電流遮断機能 電流ヒューズ 速結端子温度ヒューズ モーター内温度ヒューズ	モーターロック検知機能 モーター過電流遮断機能 電流ヒューズ 速結端子温度ヒューズ モーター内温度ヒューズ ヒーター内温度ヒューズ	モーターロック検知機能 モーター過電流遮断機能 電流ヒューズ 速結端子温度ヒューズ モーター内温度ヒューズ ヒーター内温度ヒューズ
風量切替	強・弱の2段階	強・弱の2段階	強～弱の無段階
ヒーター切替	なし	入・切	入・切
外形寸法	幅300×奥行219×高さ670		
部品重量	約9kg	約9kg	約11kg
カバー材質	全面抗菌入りABS樹脂		
水受け	あり（0.8L）		
抗菌部位	全面		
製品寿命	400回/日使用で7年(概算)	400回/日使用で7年（概算）	1000回/日使用で7年(概算)

【KS-571B、KS-571BH】

品番	KS-571B	KS-571BH
仕様	200Vヒーターなし	200Vヒーターあり
風速	強98m/s、弱62m/s	
吹き出し	両面吹き出し	
乾燥時間	強：4～6秒 弱：15～20秒	強：ヒーター入り3～5秒 ヒーター切り4～6秒 弱：ヒーター入り10～15秒 ヒーター切り15～20秒
運転音	強:53dB、弱:46dB	
電源	単相　AC200V	
定格消費電力	強：540W 弱：140W	強：ヒーター入り　1040W ヒーター切り　540W 弱：ヒーター入り　640W ヒーター切り　140W
待機電力	1W	
電源コード有効長さ	－	
モーター	ブラシレスモーター	
ファン形式	ターボファン形式	
ヒーター	－	PTCヒーター
安全装置	モーターロック検知機能 モーター過電流遮断機能 電流ヒューズ 速結端子温度ヒューズ モーター内温度ヒューズ	モーターロック検知機能 モーター過電流遮断機能 電流ヒューズ 速結端子温度ヒューズ モーター内温度ヒューズ ヒーター内温度ヒューズ
風量切替	強～弱の無段階	
ヒーター切替	なし	入・切
外形寸法	幅300×奥行219×高さ670	
部品重量	約11kg	
カバー材質	全面抗菌入りABS樹脂	
水受け	あり(0.8L)	
抗菌部位	全面	
製品寿命	1000回/日使用で7年(概算)	

施工方法

施工はコンセント式の場合と専用配線工事の場合があります。

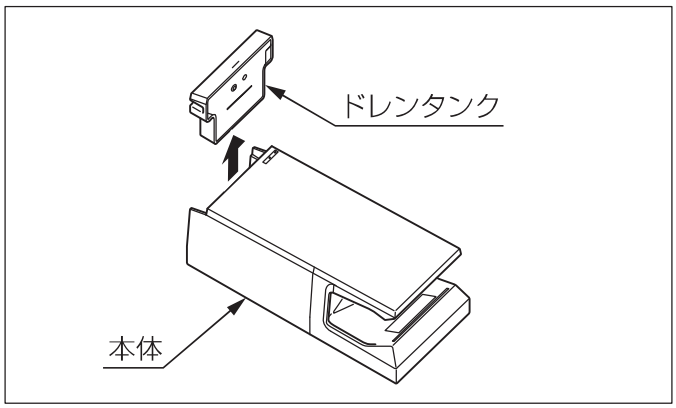
コンセント式	専用配線工事
KS-570A （100V ヒーターなし） KS-570AH（100V ヒーターあり） KS-570BH（100V ヒーターあり）	KS-570A （100V ヒーターなし） KS-570AH（100V ヒーターあり） KS-570BH（100V ヒーターあり） KS-571B （200V ヒーターなし） KS-571BH（200V ヒーターあり）

コンセントを使う場合

※専用配線工事の場合は P.12 へ進んでください。

1. ドレンタンクの取外し

ドレンタンクを取り外す。

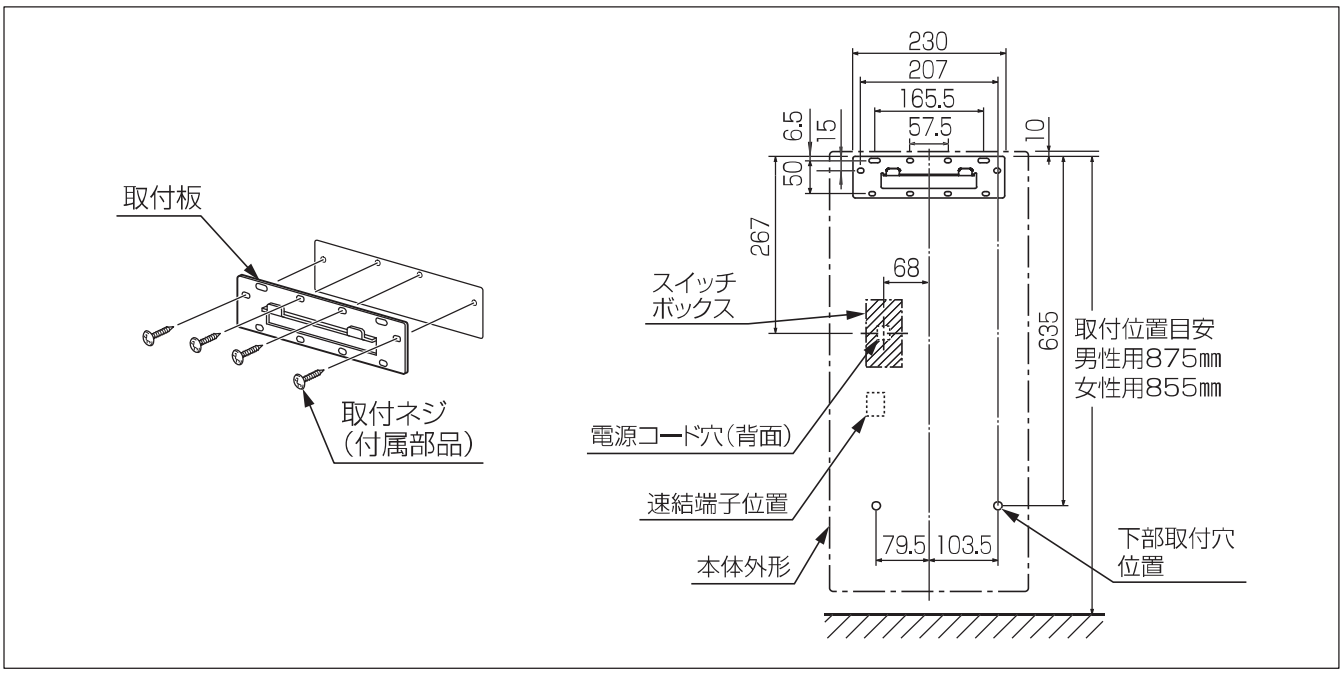


2. 取付板の固定

取付板を付属の取付板固定ねじ（4本）で壁に固定する。

- 下図に示す取付板固定ねじの位置は推奨です。
- コンクリート壁に取り付ける場合は、AYボルト（AY-84（別売））を6個手配して、取り付けてください。
- コンクリート壁以外の壁は、補強を行ったうえで取り付けてください。

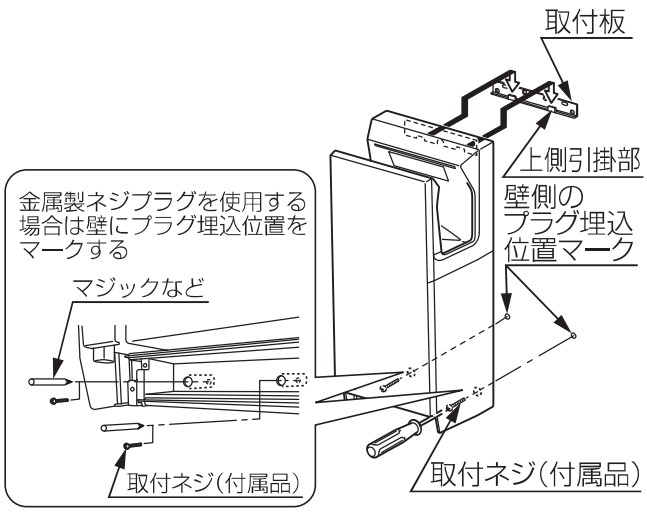
※スタンド固定の場合は取付板は使用しません。



3. 本体の固定

取付板の引掛部（2ケ所）に本体背面を引っかけ、本体を壁側に軽く押し付けながら製品下部を取付ねじ2本で固定する。

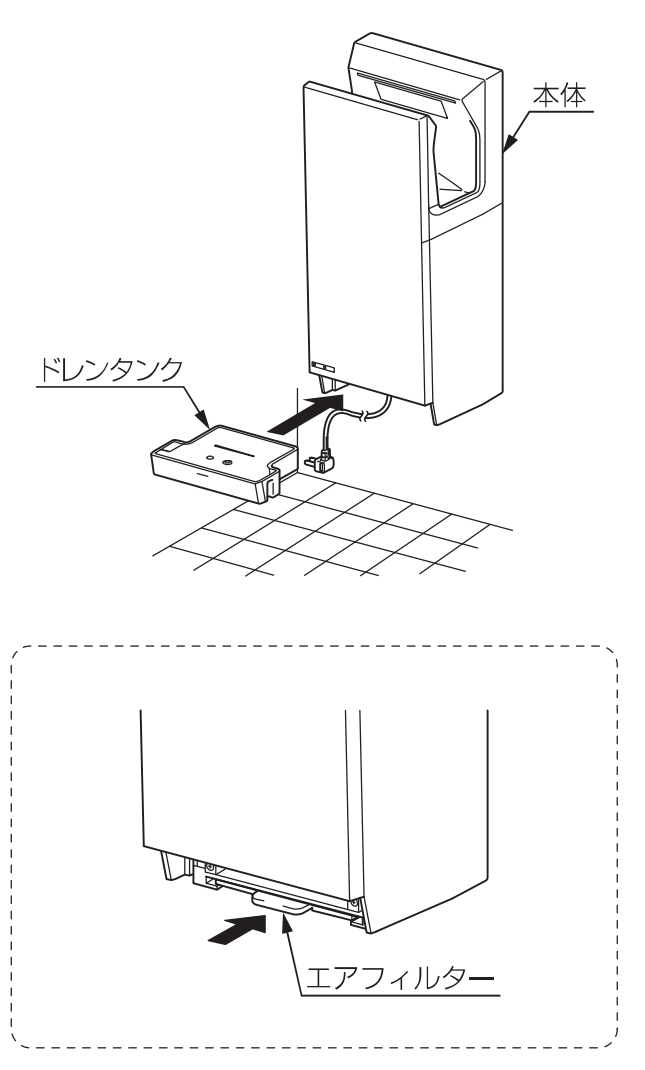
- 付属の取付ネジを締め付ける際、プラスドライバーの軸長（ビット）は150㎜以上のものを使用してください。



注意 ●市販のφ４ネジを使用する場合は、ワッシャー（外径φ10以下）でガタつきを防止してください。

4. ドレンタンクの取付け

1. **ドレンタンクを取付ける。**
   ※ドレンタンクを取付ける前に、エアフィルターが取付けられているか確認してください。
2. **電源プラグをコンセントに接続する。**



P.16へ進んでください。

専用配線工事の場合

⚠警告

使用する製品に合った定格電源を使用してください。
【KS-570A、KS-570AH、KS-570BHの場合】
交流100V 以外では使用しないでください。
【KS-571B、KS-571BH】の場合
交流200V 以外では使用しないでください。
※間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因となります。

指示実行

製品（電源ケーブル）に通電した状態で取付工事をしないでください。
※感電する恐れがあります。

禁止

配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず有資格者が行ってください。
※接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。

指示実行

電源線は確実に接続してください。
※不確実な接続をすると接続部が過熱し、火災の恐れがあります。

指示実行

電源線は確実に固定してください。
※揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因となります。

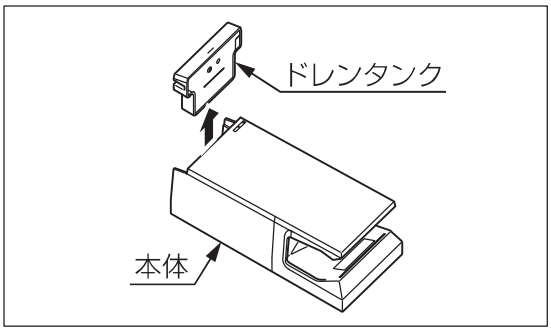
指示実行

電源ケーブルは、単線φ2またはφ1.6のVVFケーブルを使用してください。
（電源ケーブルが11mをこえる場合には、電圧降下を考慮して、極力φ2の電源ケーブルを使用してください。）
※対応配線仕様以外の配線（より線、より線＋端子など）で接続されますと、接続不良により接続部が加熱し、器具・配線の溶損・焼損・火災に至ることがあります。

指示実行

1. ドレンタンクの取外し

ドレンタンクを取り外す。



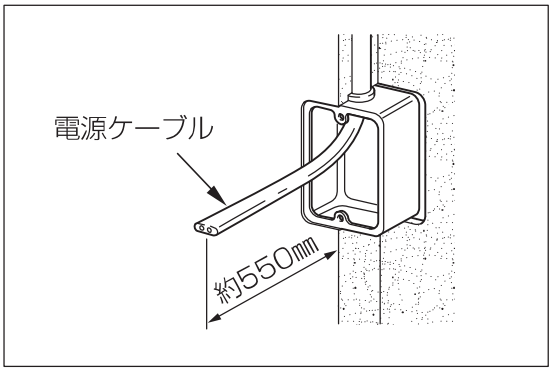
2. 配線工事

配線工事をする。

- 取付位置にスイッチボックス（JIS C 8340 1個用スイッチボックスカバーなし）を埋め込み、電源ケーブルを配線する。
  ※スイッチボックスを使用しないと、電源ケーブルが本体を押し出してうまく取り付けられません。

【KS-550A、KS-550AH、KS-551B、KS-551BHからのお取替えの場合】:

スイッチボックスからでている電源ケーブルが壁面より550mm以上あるかご確認ください。



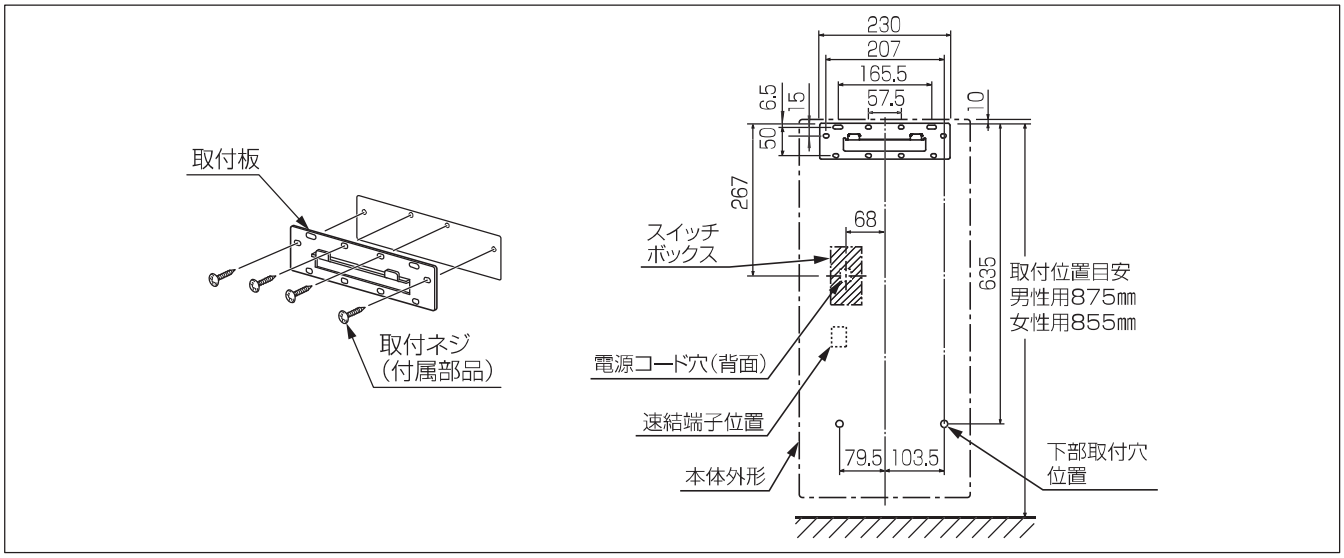
- 不足した電源ケーブルを延長する場合、電源ケーブルは単線φ2またはφ1.6のVVFケーブルを使用し、内線規定に従って専門業者による工事を実施してください。
  ※接続不足や、より線使用の場合、異常発熱や火災の原因となります。

3. 取付板の固定

取付板を付属の取付板固定ねじ（4本）で壁に固定する。

- 下図に示す取付板固定ねじの位置は推奨です。
- コンクリート壁に取り付ける場合は、AYボルト（AY-84（別売））を6個手配して、取り付けてください。
- コンクリート壁以外の壁は、補強を行ったうえで取り付けてください。

※スタンド固定の場合は取付板は使用しません。



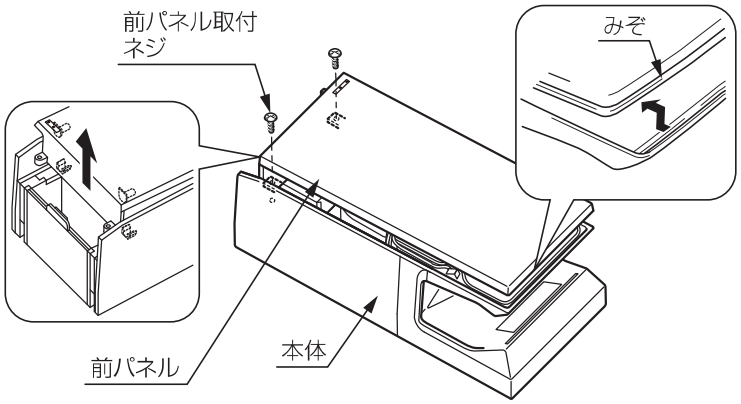
4. 前パネルの取外し

1.前パネルを取りはずす。

（1）前パネル取付ネジ（2本）をはずす。

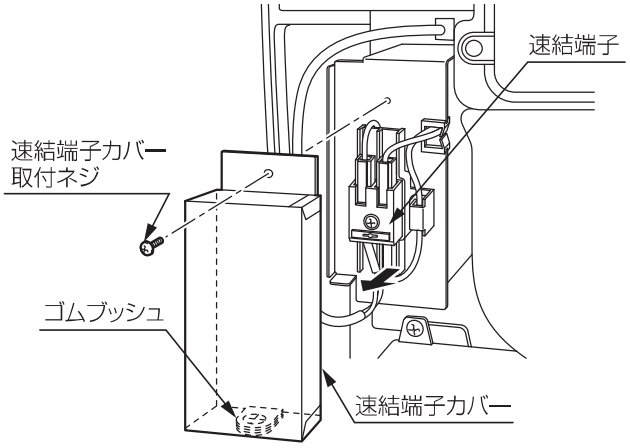
（2）前パネル下部を持ち上げる。

（3）前パネルのみぞを本体からはずし、前パネルを取りはずす。



2.速結端子カバーを取りはずす。

速結端子カバー取付ネジ（1本）をはずし速結端子カバーを手前に引き出す。
※ ゴムブッシュはなくさないでください。



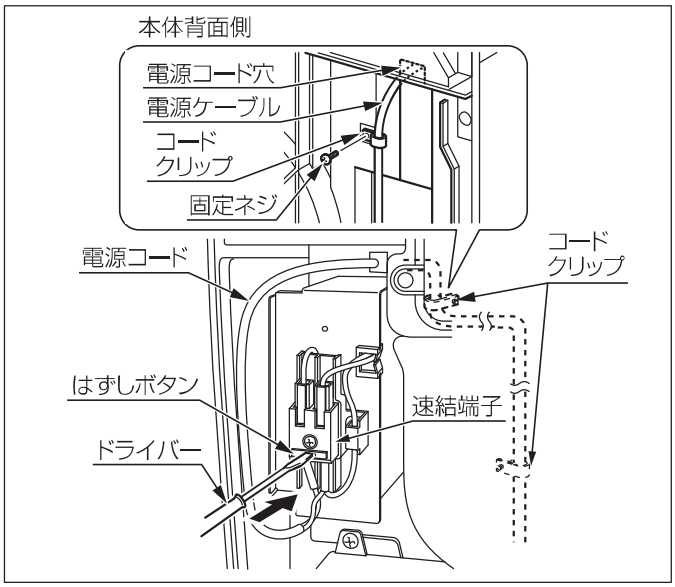
次ページに続く

5. 電源プラグコードの取外し　※KS-570A、KS-570AH、KS-570BHの場合

速結端子に接続されている電源コードをはずす。

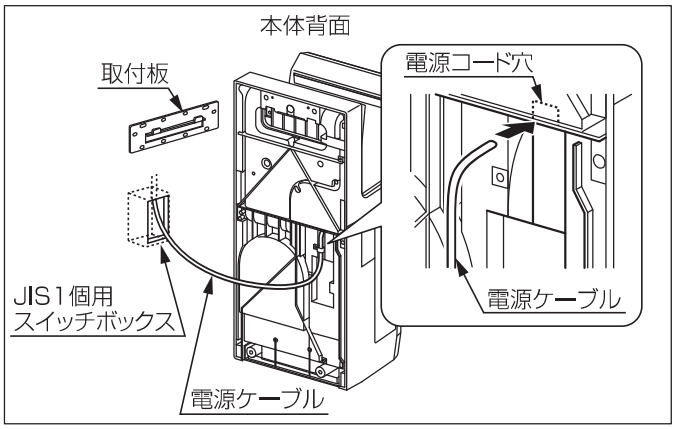
（1）速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながら電源コードを引張ってはずす。
※確実にはずしボタンを押してください。無理に引張ると速結端子が壊れるおそれがあります。

（2）本体背面のクリップをはずし、電源コードを引き抜く。（上下2か所）



専用配線の電源ケーブルを本体内に引き込む。

本体背面の電源コード穴に、専用配線の電源ケーブルを通す。



6. 速結端子への結線（極性なし）

⚠警告

使用する製品に合った定格電源を使用してください。
※間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因となります。

指示実行

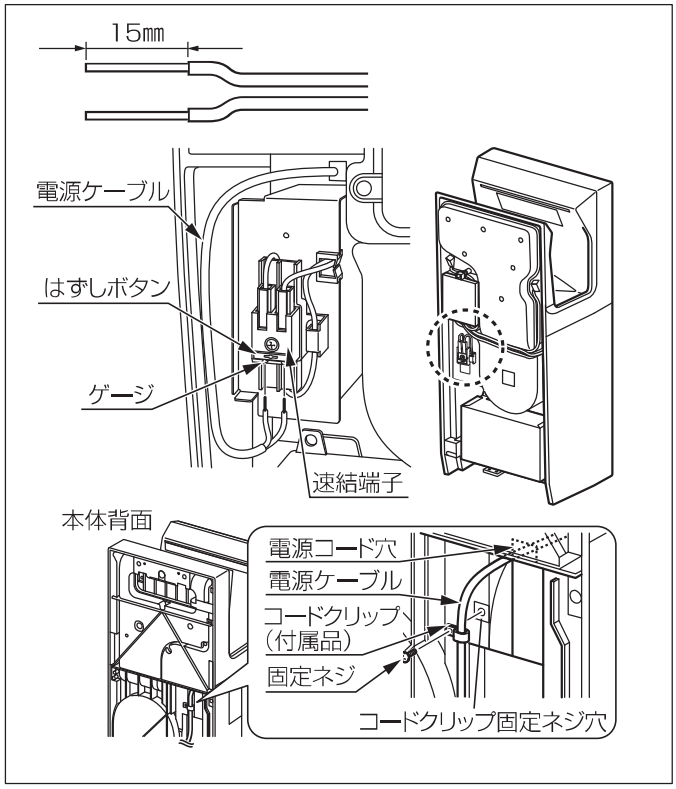
（1）速結端子にあるゲージに合わせて、電源被ふくを15㎜皮むきする。

（2）電源ケーブルを速結端子に確実に差し込む。

（3）速結端子への結線が確実に差し込まれているか確認する。
- 電源ケーブルは必ず単線のものを使用してください。
- より線をハンダ付けして速結端子に差し込まないでください。
（火災・感電・故障の原因になります）

注意 ●本製品にはアース接続をしないでください。
誤動作や故障の原因になります。

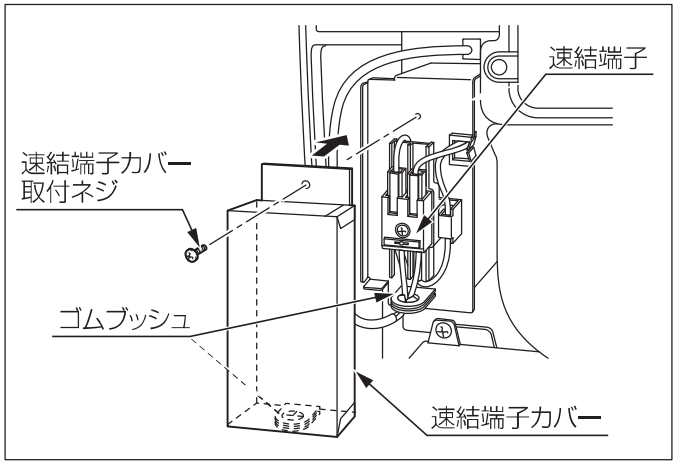
（4）クリップ固定ネジ穴を使用して、付属のコードクリップ、固定ネジで電源ケーブルを固定する。



7. 速結端子カバーの取付け

1. 電源ケーブルと電線をゴムブッシュに通して、速結端子カバー取付ねじで速結端子カバーを元通り本体に取り付ける。
2. 電源ケーブルおよび電線をはさみ込んでいないことを確認する。

- 速結端子カバーの手前に電線があると、前パネルが取り付けられません。速結端子カバーの左側へ電線を移動してください。

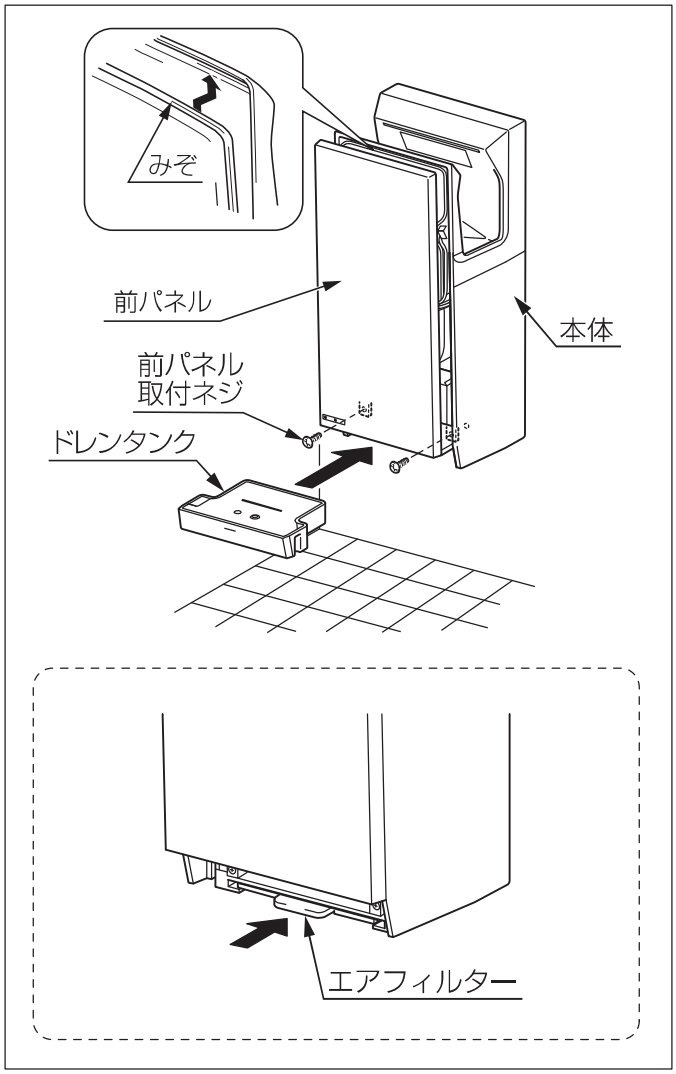


8. 本体の固定

（1）本体背面で電源ケーブルをはさみ込まないように、スイッチボックス内で電源ケーブルの長さを調節し、取付板の引掛部（2か所）に本体背面を引掛ける。
（2）本体を壁側に軽く押しつけながら、付属の取付ネジ（2本）で固定する。

9. 前パネル、ドレンタンクの取付け

1. 前パネルを取り付ける。
   ①前パネルのみぞを本体にはめ込む。
   ②はずしたねじ（2本）で元通り本体に取り付ける。
   ③前パネルが確実にはまっていることを確認する。
2. ドレンタンクを取り付ける。
   ※ドレンタンクを取り付ける前に、エアフィルターが取り付けられているか確認してください。



試運転

	手　順	確認内容	チェック
1	電源電圧を確認する	KS-570A、KS-570AH、KS-570BHの場合、AC100Vを使用していますか？ KS-571B、KS-571BHの場合、単相AC200Vを使用していますか？	
2	電源プラグをコンセントに差し込むまたは漏電遮断器を「入」にする	電源プラグは確実に差し込まれていますか？	
3	電源スイッチを「ON」にする	表示部の電源ランプは点灯していますか？	
4	手を入れて乾かす	風が吹き出していますか？	
5	手を入れたまま風量ボリュームを回す	風量が変わりますか？	
6	ヒータースイッチを入れる（KS-570AH、KS-570BH、KS-571BHの場合）	温風は吹き出ていますか？（ヒータースイッチを入れた後、数分経過しないと温風は出ません。）	
7		本体の取り付けが確実で、振動・異常音はありませんか？	

※手を入れた状態で電源スイッチを「ON」にしないでください。正常に作動しないことがあります。
※運転状態が30秒経過すると「いたずら防止タイマー」が働き、製品を停止させます。故障ではありません。
※表示部の点検ランプが点灯または点滅状態のときは、電源スイッチを一旦「OFF」にして、表示部のランプが全て消灯したのを確認した後（約30秒）に再度「ON」にしてください。

引渡前の確認

■引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

[故障と点検]

現　　象	点　　検	処　　置
手を入れても風が出ない	表示部のランプは点灯していますか？ 停電ではありませんか？	● 漏電遮断器を「入」にします。 ● コンセントプラグを差し込みます。（コンセント式の場合） ● 電源スイッチを「ON」にします。
	手の入れ方が不十分ではありませんか？	● 手挿入部の奥まで入れ直します。
	手挿入部に手を入れたまま、電源スイッチを入れていませんか？	● 手挿入部から手をはずし、10秒ほど後に再度、手を入れてください。
	センサーに異物、汚れが着いていませんか？	● 電源スイッチを「OFF」にし、センサー窓・手挿入部の黒色壁面を掃除してから電源スイッチを「ON」にしてください。
風が止まらない	手挿入部内の黒色壁面が白く汚れていませんか？	
	電源スイッチON時、または電源スイッチON後1秒以内に手等を挿入されてませんか？ センサー感度が異常となり手を抜いても止まらなくなる場合があります。	● 手挿入部から手をはずし、10秒ほど後に再度、手を入れてください。
温風にならない	ヒータースイッチが「切」になっていませんか？（ヒーター付の場合）	● ヒータースイッチを「入」にします。
点検ランプが点滅している	電源に異常があると点灯または点滅することがあります。 電源スイッチON時、または電源スイッチON後1秒以内に手等を挿入されると点検ランプが点滅または早点滅することがあります。	● 電源スイッチを一旦「OFF」にして、表示部のランプが全て消灯したのを確認した後（約30秒後）に再度電源を「ON」にします。

※上記点検・処置をされても故障が直らない場合は下記手順を行い停止させ、LIXIL修理受付センターへご相談ください。

●コンセント式の場合：電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
●専用配線の場合：電源スイッチを切り、漏電遮断器を切ってください。

PSZ-1281(19102)